

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	611	施策名	ごみの発生抑制と資源の有効活用	施策の目的	● ごみの減量・資源化・適正排出を推進します。 ● 一般廃棄物（ごみ）処理施設等を適正に維持・管理します。
関係課	環境政策課、衛生施設室、社会福祉課、農政課				

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績値					見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R 6 年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
		R2	R3	R4	R5	R6				
a ごみ総排出量（一般廃棄物）	t	38,766	37,331	37,220	36,032	35,738	35,157	33,620	④現在の想定では目標達成が困難	令和6年度も減少傾向が続くと考えられるが、過去の減少率から令和7年度を推計すると目標達成には至らない。
b 再生利用率（再生利用量／ごみ総排出量）	%	12.6	12.2	10.9	10.5	10.2	9.8	22.0	④現在の想定では目標達成が困難	資源ごみはスーパー・マーケットによる回収など、回収ルートの多様化により回収量は増加していると推察されるが、回収ルートの多様化は市が把握できない回収分の増加をもたらし、再生利用率としての数値が伸びてこない。
c ごみ処理施設の運転において、振動・騒音・排出ガス等が施設の管理値を超えた件数	件	0	0	0	0	0	0	0	①既に目標値達成済み	国の規制値や指針値よりも厳しい施設管理値をクリアするため、適正に維持管理、運営されているため。
d										

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明
				R4	R5	R6	
9	食品ロス削減推進計画策定事業	食品ロス削減に取り組む市民の割合	%	44.0	42.9	44.9	0 0 209 計画策定により、市民等が食品ロス削減の必要性を理解し、計画に示す食品ロス削減へ向けた実際の取組を行うことで、ごみの減量化やCO2排出量削減に繋がる。

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明
				R4	R5	R6	
34	不法投棄対策事業	不法投棄通報件数（単年度）	件	24	19	20	8,370 8,862 9,955 不法投棄通報件数は前年度とほぼ同じだったが、回収量は多くなった。
		回収量（地域協働含む）	kg	2,770	1,190	1,740	

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明
				R4	R5	R6	
16	全国都市清掃会議参画事業	会議等への出席延べ人数	人	2	2	2	104 104 104 当該団体に係る会議等への参加は、総会及び臨時総会の2回で、要望は年1回となっている。
		要望書の提出件数	件	1	1	3	
20	みかもクリーンセンター余熱利用施設管理事業	施設利用者数	人	238,181	276,551	282,959	3,273 869 2,994 安定的に施設運営を行うことができ、施設利用者数はコロナ禍前の水準に戻りつつある。
		施設利用収入額	千円	67,110	77,109	77,408	
21	みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業	施設利用者数	人	238,181	276,551	282,959	84,260 101,013 120,559 施設利用者数が、コロナ禍前の水準に概ね戻ってきた。
		施設利用収入額	千円	67,110	77,109	77,408	
33	ふれあい収集事業	ふれあい収集の収集重量	t	57	60	65	379 405 680 ふれあい収集利用世帯数は増加傾向にあり、それに伴い収集重量も増加している。

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明
				R4	R5	R6	
4	葛生清掃センター焼却施設等改修事業	施設修繕件数	件			27	0 0 21,120 改修工事に向けた発注仕様書を作成し、工事の発注・契約締結ができた。
10	家庭用生ごみ処理機器普及事業	生ごみの自家処理量	kg	7,738	8,760	7,592	556 741 698 生ごみ処理機器の普及啓発活動により補助金の交付件数は50件前後で推移しており、生ごみの自家処理量増加に繋がっている。
		生ごみ処理機器を利用している市民の割合	%	10.0	9.2	8.8	
13	資源ごみ集団回収報奨金制度事業	資源ごみ集団回収量	t	961	780	707	3,859 3,343 3,093 高齢化やスーパー・マーケットでの資源ごみ回収により、集団回収の実施団体数、実施回数及び回収量は減少傾向にある。それに伴い、みかもクリーンセンター及び葛生清掃センターに持ち込まれる資源ごみの量が減少し、再生利用率も下がっている。
		再生利用率（再生利用料/ごみ総排出量）	%	10.9	10.5	10.2	
15	全国都市清掃会議関東地区協議会参画事業	会議等への出席延べ人数	人	1	3	1	0 0 0 当該協議会に係る会議等への参加は総会（書面）への参加となつており、川崎市で開催された施設見学会及び水戸市で開催された廃棄物処理実務研修会は欠席した。
		会議等への出席率	%	100	100	33.3	
17	栃木県清掃事業連絡協議会参画事業	会議等への参加延べ人数	人	5	5	4	7 3 6 当該団体主催の研修会等への参加や情報の取得により、清掃業務に関する技術の向上が図れている。
		会議等への参加率	%	100	100	66.6	
18	ごみ搬入届出証交付事業	市民（家庭用・減免）持込量（みかも）	t	1,509	1,494	1,500	45 30 20 搬入届出証交付に伴い、ごみの減量化や分別などの指導ができる。
		事業所持込量（みかも）	t	715.1	648.2	674.0	
19	佐野市労働基準協議会参画事業（みかもクリーンセンター）	会議への出席回数	回	0	2	1	24 25 24 職場環境改善に係る情報の共有が図られ、職場環境改善に繋がっている。
		搬入ごみが適正に処理されなかった件数	件	0	0	0	
22	みかもクリーンセンターごみ焼却処理施設長期包括運営管理委託事業	可燃ごみの搬入量	t	24,222	23,546	23,922	991,391 805,347 869,261 安定的にごみの焼却処理を行うことができた。
24	みかもクリーンセンター（ばいじん）等処理委託事業	ばいじん不燃残渣の発生量	t	1,209	1,192	1,207	41,085 41,155 42,368 年間を通して安定的にばいじん、焼却不燃残渣の処理を行えた。
26	みかもクリーンセンター破碎屑処理委託事業	破碎屑の発生量	t	165	162	179	5,878 6,010 6,632 年間を通して安定的に破碎屑の処理を行うことができた。
28	リサイクルプラザ維持管理事業	修繕回数	件	3	4	5	5,371 5,728 6,168 適切な維持管理ができたことで、3R啓発の場、市民の行う3R活動の場として維持することができた。

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）
・食品ロス削減の推進においては、令和6年2月に社会福祉法人三松会とフードドライブによる食品寄贈事業についての合意書を締結し、一般家庭から食品を募り、集めた食品を福祉施設などに寄贈する取組を行っている。また、「食品ロス削減推進計画」を策定した。

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）	②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）
・廃プラスチックのモデル地区拠点回収実証事業を実施し、本市全域の排出傾向の推計及び周知効果を計るための基礎データを取得し分析を行った。 ・ごみ減量化・資源化の促進のため、3Rを推進する事業の展開（イベント主催・参画、各種講座開催など）、ごみステーションでの分別指導、町会での分別説明会、30社の多量排出事業者へごみ減量化計画書の作成依頼を行った。 ・本市の実態を踏まえた食品ロス削減推	